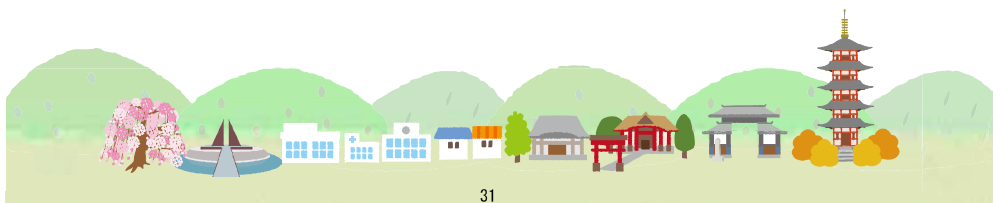


活力あるまち

施策の
方向性

- 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
- 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
- 3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化
- 3-4 商工業の再生・活性化
- 3-5 観光戦略の推進

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
地域資源を 活かした 商品開発数	37件 (2017年度)	40件 (2020年度)	60件	地域の特性を活かした産業振興等により、地域資源を活かした商品（食品、農林産物、観光商品等）の開発が進展すると考えます。
観光入込客数	1,401千人 (2017年度)	976千人 (2020年度)	2,000千人	市内における経済活動の活性化を目指して、地域資源を活用した観光戦略を推進することで、観光入込客数が増加すると考えます。



SDGs



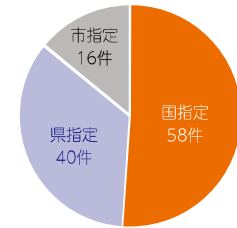
施策の
方向性

3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用

現状

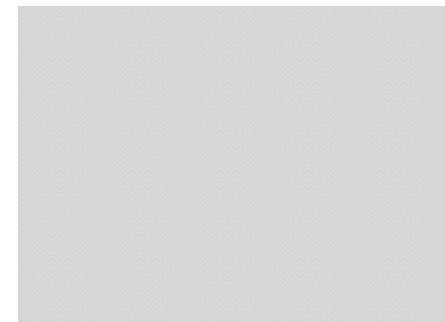
- ▶ 宇陀市には日本遺産に認定された室生寺をはじめ、国・県・市指定の文化財や歴史的な街なみ、歴史と文化の中で継承されてきた魅力的な行事等が存在
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の保存・活用、史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大及び公有化に向けた取り組みを実施
- ▶ 伝統文化等の担い手が減少しており、保存継承が困難
- ▶ 宇陀市産材の利用促進に向けた支援
- ▶ 宇陀市の魅力をブランドとして確立していくために情報発信

国・県・市指定文化財登録数



課題

- ▶ 2017年の台風による被害を受けた史跡宇陀松山城跡の復旧工事の実施
- ▶ 伝統文化等の継承に向けた担い手の育成
- ▶ 豊かな自然・歴史・文化といった、宇陀市の魅力の発信及び有効活用
- ▶ 宇陀の木のブランド化に向けた情報発信
- ▶ 地域資源のブランド化による付加価値の創出



施策

① 歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します

- ▶ 伊勢街道、街道沿いの旧旅籠「あぶらや」、室生寺門前等の街なみを保存継承するとともに、近隣市村と連携した活用の推進
- ▶ 歴史・文化資源の活用に取り組むとともに、歴史的街なみや史跡の保護、整備の推進
- ▶ 郷土の歴史や文化財、伝統文化に対する理解を深めるために埋蔵文化財や郷土資料等の展示、講演会・講座等の実施
- ▶ 伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存や後継者育成を担っている団体の支援
- ▶ 遺跡の発掘調査を行うとともに、保護対策を講じ、後世に郷土の歴史の継承
- ▶ 国・県・市指定文化財の所有者が行う建造物等の保存修理や防災設備の設置・点検等への支援

② 宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します

- ▶ 農林産物や特産品のほか自然環境・歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として、YouTube 等により広く発信するとともに、YouTuber の育成
- ▶ 商工会や観光協会、金融機関等と連携し、地域商社を整備し、農林産物に付加価値のついたブランド品の育成
- ▶ 都市部での販売を促進するため、アンテナショップを整備し、販路の拡大



こんな事業を行っています (事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 文化財保存修理
- 史跡宇陀松山城跡保存整備
- 民俗文化財伝承
- 大和高原宇陀ブランドプロモーション

こんな計画が関連しています

- 史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画
- 歴史的風致維持向上計画
- 史跡森野日薬園保存活用計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市道徳地域持続的発展計画
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

※31. 日本遺産：文化庁により認定された、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。
 ※32. 地域商社：地域の多くの関係者を巻き込み、農産物等の地域の資源をブランド化し、生産、加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織のことです。

SDGs



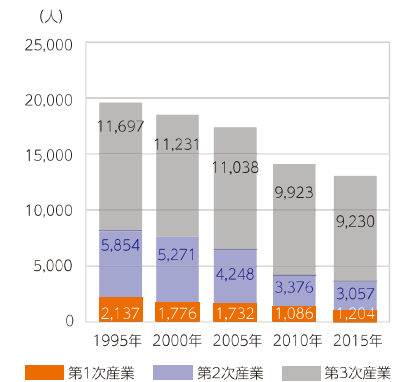
施策の方向性

3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成

現状

- ▶ 高齢化が進む農林業の担い手が不足
- ▶ 地域おこし協力隊制度を活用し、業草など地域の資源を活かした起業に向けての活動を支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークなど、働き方が変化

産業別人口(15歳以上就業者数)の推移



課題

- ▶ 空き家・空き店舗の利活用の促進
- ▶ 離農により発生している遊休農地の有効活用の促進
- ▶ 働き方の変化や地方回帰への関心の高まりに応じた働く環境づくりの確保
- ▶ 市内での就職を促進するために、雇用の拡大
- ▶ 経営が不安定な就農直後の担い手に対する支援

※33. テレワーク：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

施策

① 起業家など多様な人材を育成します

- ▶ 空き家・空き店舗の活用など起業に向けた支援の充実
- ▶ 地域おこし協力隊等を活用し、農林業の担い手の確保
- ▶ 地域おこし協力隊・仕事づくり推進隊として活動してきた隊員が定着し、起業できるよう支援
- ▶ 多様な働き方に対応したサテライトオフィスの整備・活用
- ▶ 土地を有効活用し、既存事業所の規模拡大につなげ、雇用を確保できる環境づくりの推進
- ▶ 新規就農者が安定して農業経営ができるよう支援
- ▶ 企業等と連携して、地域資源を活かした雇用の場の創出



こんな事業を行っています (事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 仕事づくり推進隊設置
- 農業サポート人材育成
- 林業従事者人材育成

こんな計画が関連しています

- 大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※34. サテライトオフィス：企業や団体の本拠地から離れた場所に設置されるワーキングスペースのことです。
 ※35. 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのことです。

SDGs



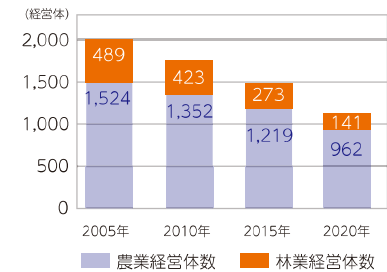
施策の方向性

3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化

現状

- ▶ 伊那佐東部地区に県東部で初の「特区」となる特定農業振興ゾーンが奈良県により設定
- ▶ 中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業等の活動を継続して行っている組織（集落）に対して支援を行っており、高齢化が進行若年層の農林業や農山村への意識の低下や後継者不足により、農林業経営が難航
- ▶ 農業経営における農業用機械の更新費が負担
- ▶ 電気柵等の設置により、イノシシの被害は一定の効果が出ていますが、シカ等の被害が増加
- ▶ 害獣駆除と企業活動を併せ持つジビエ利活用施設を建設

農林業経営体数の推移



注) 農林業経営体：農林産物の生産をおこなうかまたは委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、一定の規模以上の事業を行っている者のことを言います。

課題

- ▶ 大宇陀南部地域の農業用水である宮奥ダムの老朽化対策
- ▶ 農林畜産業の効率的で安定した経営の促進
- ▶ 農林畜産物の安定した販売に向け、生産・流通体制の強化
- ▶ 付加価値の高い農作物づくりの推進
- ▶ 森林の保全を図り、林業施業の基盤の強化

※36. 特定農業振興ゾーン：農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために奈良県がエリアを設定するものです。
 ※37. 中山間地域等直接支払事業：平地から山間地にかけて、傾斜地が多く農業が不利な地域において、継続的な農業生産活動を行う農業者に支援する事業です。
 ※38. 多面的機能支払交付金事業：農地や水路等の基礎的な保全活動や質的向上を図る共同活動、水路や農道等の施設の長寿命化に対して支援する事業です。
 ※39. ジビエ：狩猟で捕獲した野生鳥獣の肉や料理のことです。

施策

① 地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します

- ▶ 農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換の促進
- ▶ 伊那佐東部地区に設定されている特定農業振興ゾーンがモデル地区となる取り組みを行い、他地域にも設定されるよう生産性の向上
- ▶ 農道の整備・維持を進めるとともに、農業用水路等の長寿命化や農地の保全等の活動に取り組む組織（集落）の支援
- ▶ 安定した農業用水を確保するため、宮奥ダムの管理運営を行うとともに老朽化対策の実施

② 人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります

- ▶ 地域農業を支える担い手が安定した農業経営を行えるよう支援
- ▶ 化学肥料・化学合成農薬の低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動（環境保全型農業直接支払交付金事業）の推進
- ▶ 防除技術を持つ人材を育成し、地域ぐるみでの効率的な鳥獣害対策の支援
- ▶ シカ・イノシシを地域の資源と位置づけ、良質な食肉として生産するためにジビエ利活用施設の整備
- ▶ 奈良県フォレスターアカデミーと連携し、林業の担い手確保や活性化の支援
- ▶ 畜産業では、奈良県と連携しながら、鳥インフルエンザや豚コレラ等の感染症対策の促進

③ 農林畜産物の生産・流通を推進します

- ▶ 農林産物品評会やうだ産フェスタを開催し、農林産物生産者等の営農意欲や生産品の品質の向上
- ▶ 宇陀市薬草協議会との連携強化や地域おこし協力隊制度の活用により、大和当帰やセネガ等の薬草栽培を推進するとともに、薬草のまちとして薬草の魅力の発信
- ▶ 米の生産調整のため、耕作しない水田で生産する黒大豆・小豆の産地化・ブランド化を図るとともに生産者の支援
- ▶ 宇陀市産木材を利用した新築や増改築に対して支援を行うとともに、宇陀の木のブランド化や間伐材の利用の推進
- ▶ 農産物直売所等において、農林畜産物や特産品等を販売するなど流通体制の強化

④ 山林を適切に管理します

- ▶ 作業路の開設など森林施設の効率化や間伐を推進し、森林の多面的機能の維持
- ▶ 森林施設の集約化に必要な山林境界の明確化の推進
- ▶ 里山の針葉樹林を広葉樹に転換するなど、水源涵養機能等の維持

※40. **スマート農業**：情報通信技術（ICT）やロボット、ドローン、自動運転技術等を活用して農作業を省力化、精密化し、生産性を向上させる農業のことです。

※41. **奈良県フォレスターアカデミー**：経済性と環境保全を両立する「恒続林」をはじめとした森林管理手法により持続可能な林業の担い手となる人材を養成する機関のことです。

※42. **鳥インフルエンザ**：高病原性インフルエンザの略で、鳥に感染するインフルエンザのうち重篤な症状を起こすものです。

※43. **豚コレラ**：豚コレラウイルスの感染による豚とイノシシの病気で、強い伝染力と高い致死率が特徴です。



こんな事業を行っています（事業は2021年度の事業を基にしています）

- | | |
|----------------|---------------|
| ○特定農業振興ゾーン推進 | ○薬草を活用したまちづくり |
| ○多面的機能支払交付金 | ○うだ産フェスタ |
| ○中山間地域等直接支払交付金 | ○美しい森林づくり基盤整備 |
| ○ジビエ利活用プロジェクト | ○里山の広葉樹林再生 |
| ○有害鳥獣対策 | ○森林環境譲与地の活用 |

こんな計画が関連しています

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ○宇陀市過疎地域持続的発展計画 | ○農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 |
| ○宇陀市森林整備計画 | ○公共建築物における宇陀市産木材利用促進方針 |
| ○宇陀市特定間伐等促進計画 | |

はじめに
宇陀市の紹介

第1章 中期基本計画の策定にあたって

第2章 基本構想

第3章 基本計画

健康なまち
暮らしやすいまち
活力あるまち
生産者への支援
自然豊かなまち
地域力を高めるまち

資料編

※44. **水源涵養機能**：森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させたり、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能のことです。

SDGs



施策の方向性

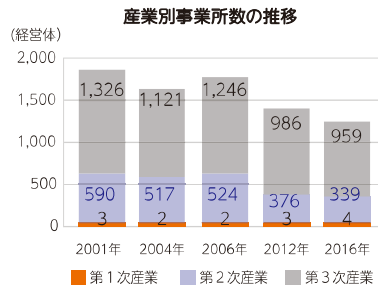
3-4 商工業の再生・活性化

現状

- ▶ 大和高原の玄関口である榛原駅周辺では、県施設跡地等の未利用地やビルの空き室が目立つ
- ▶ ウッピー商品券やプレミアム八ッぴー商品券を発行し、個人の消費喚起を促し、地域経済を活性化
- ▶ 経営者の高齢化が進み、後継者不足による廃業が発生
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」を挙げる人が最も多かったほか、事業者との座談会で土地の活用による動く場の確保を望む声があった

課題

- ▶ 榛原駅周辺の未利用地やビルの空き室等の有効利用
- ▶ 既存事業所が有する技術を生かし、時代に即した新たな分野への進出の促進
- ▶ 既存事業所の事業承継や事業活動に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など予測不能な事態に備え、事前対策を促進し、事業継続力の強化の支援
- ▶ 今後の宇陀市の地域経済を支えていくために、農林畜産業や地場産業の振興とともに、既存事業者への支援や新たな企業の誘致
- ▶ 創業や企業誘致による事業所の増加の推進



施策

① 駅前の活性化を推進します

- ▶ 大和高原の玄関口となる榛原駅前の空き地を活用して交流施設を整備するとともにマルシェ等を開催し、にぎわいと交流の拠点づくり
- ▶ 奈良県東部農林振興事務所跡や市有地等の有効利用
- ▶ 大都市に近い立地や豊かな自然を活かして、駅前や駅前商店街のにぎわいづくり

② 地場で活動する事業者を支援します

- ▶ 市街化調整区域に地区計画を定め、環境と調和した企業の事業拡大、活性化
- ▶ 地場産業である毛皮革産業の振興を図るため、奈良県等と協力し、商品開発や販路拡大、及び工場団地機能の充実
- ▶ 宇陀商工会と連携して、ウッピー商品券やプレミアム商品券を発行することで地域経済の活性化
- ▶ 経営相談や事業承継等の商工会の活動の支援
- ▶ 奈良県信用保証協会や金融機関と連携した事業経営に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合でも事業を継続できるよう、事業継続に向けた取り組み

③ 企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します

- ▶ 企業を誘致しやすい基盤整備を図るとともに、自然が豊かで大都市に近い便利な田舎を活かした企業誘致
- ▶ 榛原駅周辺ビルの空き室や空き店舗等を活用したサテライトオフィスの整備
- ▶ 奈良県や宇陀商工会と連携して、市内で創業する事業者の支援



こんな事業を行っています

(事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- 榛原駅前交流施設整備
- ウッピー商品券発行
- 宇陀商工会支援
- 中小企業資金融資
- 企業立地推進
- 創業支援助成

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市空家等対策計画

SDGs



施策の方向性

3-5 観光戦略の推進

現状

- ▶ 宇陀市には伊勢街道や日本遺産に認定された女人高野室生寺等の歴史・文化資源や豊かな自然、温泉といった様々な観光資源を保有
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整えるため、パンフレットの多言語化やフリーWi-Fiスポットの設置等を整備
- ▶ 「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」新日本編に掲載された龍王ヶ淵は「池の水面が鏡張りのように木々を映し出す」として人気拡大
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛やイベントの開催が困難になるなどの影響により、観光客が減少
- ▶ 市内宿泊者の約 8 割を受け入れている保養センター美樺苑は、供用から 40 年以上が経過し、老朽化が進行

課題

- ▶ 道の駅など老朽化している観光施設について、施設の魅力の向上
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整え、誘客に向けた情報の発信
- ▶ 地域活性化や賑わいを創出するために地域資源との連動
- ▶ 「関係人口」を増やすため、新たなファンを獲得
- ▶ ターゲットに合わせた観光資源のPR
- ▶ 広域での周遊・滞在型観光に向けた、周辺自治体との連携強化
- ▶ 今後の宿泊施設のあり方の検討



施策

① 魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します

- ▶ 伊勢街道や東海自然歩道等のハイキング道、登山道、レンタサイクル道だけでなく、案内情報が不足している誘導看板を整備し、周遊環境の充実
- ▶ 新たな宿泊施設の誘致や保養センター美樺苑の活用を検討しながら、宿泊環境の充実に取り組むなど、滞在型観光の推進
- ▶ 観光需要に対応した駐車場やフリーWi-Fiスポット等の整備を進めるとともに、老朽化している観光施設の魅力向上
- ▶ 近年注目が集まっている「龍王ヶ淵」など新たな観光資源を掘り起こして、地域資源を活かした観光の推進
- ▶ 観光施設の多言語表記や観光看板の多言語化、トイレの洋式化など、外国人観光客の受け入れ環境の充実

② 満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします

- ▶ 古事記・日本書紀・万葉集や伊勢街道等の歴史・文化資源を活用した事業の展開
- ▶ 日本遺産である女人高野室生寺でのイベントを関係市町と連携し、室生寺への誘客や門前の商店を含めた地域活性化
- ▶ うだ・アニマルパークや松山地区伝統的建造物群保存地区等への誘客について奈良県と一体となった推進
- ▶ 観光協会等との連携の強化を図りながら、地域に根付いた観光イベントの支援や観光施設等での「おもてなし」の向上
- ▶ 民泊による滞在型観光の支援
- ▶ スポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致・開催を行うことで、交流人口を増加させるとともに、市内に滞在することで、地域経済の活性化

③ 観光PRや情報発信の強化を図ります

- ▶ ホームページやSNS等を活用したターゲットに合った戦略的な情報発信を行うとともに、旅行会社への営業や宣伝活動の実施
- ▶ 他市町村と連携して、大和高原地域の魅力を都市部を中心にPRするとともに、イベントを開催するなど広域での周遊・滞在型観光の推進



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- 龍王ヶ淵環境整備
- 苑田野イベント広場整備
- 龍王ヶ淵環境整備
- 苑田野イベント広場整備
- 龍王ヶ淵環境整備
- 苑田野イベント広場整備
- 龍王ヶ淵環境整備
- 苑田野イベント広場整備
- 龍王ヶ淵環境整備
- 苑田野イベント広場整備
- 大和高原(東吉野)観光振興協議会負担金
- 団体旅行誘致推進
- 東奈良・名張園域における広域連携
- スポーツツーリズム

こんな計画が関連しています

- 宇陀市観光基本計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※45. **フリーWi-Fiスポット**: パソコンやスマートフォン等を無線でインターネットに接続できる環境を開放しているエリアサービスのことで、誰でも無料で利用できます。
 ※46. **スポーツツーリズム**: スポーツイベントへの参加やスポーツ観戦のための旅行やそれに伴う周辺観光など、スポーツに関わる様々な旅行のことです。

生涯輝くまち

施策の
方向性

- 4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
- 4-2 子どもたちの教育環境の充実
- 4-3 多様な学びの場の整備・充実
- 4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

評価指標		現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
		前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
自分には、 よいところ があると思う児童 生徒の割合	小学校	71.4% (2017年度)	72.0%※2 (2020年度)	85.0%	教育の質がさらに向上することにより、自尊感情の高い子どもが増加すると考えます。
	中学校	69.7% (2017年度)	67.0%※2 (2020年度)		
今住んでいる地 域の行事に参 加している児童 生徒の割合	小学校	63.9% (2017年度)	※3	75.0%	子どもたちの教育環境の整備や地域における教育力を向上させることで、郷土に愛情を持った子どもが育ち、地域の行事に参加する児童生徒が増加すると考えます。
	中学校	35.7% (2017年度)	※3		
市内主要施設の※1 年間利用者数		187,927人 (2017年度)	102,356人 (2020年度)	188,000人	スポーツ活動の充実・支援や芸術文化環境の充実を推進することで、市内施設の利用者数の維持・向上につながると考えます。

※1 市内主要施設は、文化会館・温水プール・公民館4館・ふれあい交流館ドーム・図書館
 ※2 中止となった全国学力学習状況調査に替えて実施した市独自アンケートの数値
 ※3 新型コロナウイルス感染症の影響により全国学力学習状況調査は中止



SDGs



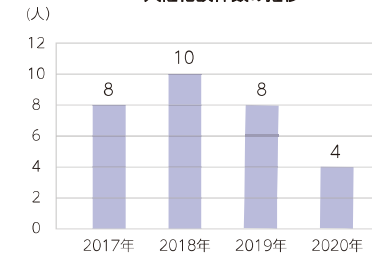
施策の
方向性

4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現

現状

- ▶ 同和地区に関する問い合わせや、インターネットによる人権侵害が依然として存在し、また、LGBTQ など性的マイノリティの人に対する偏見といった問題も発生
- ▶ 人権に関する相談に対応するため、人権擁護委員や民生委員・児童委員等との連携により人権相談を実施しているほか、女性専門相談員によるDV相談を実施
- ▶ 性別に関わりなく誰もが輝くことのできる社会の実現を目指して、地域団体と連携しながら、啓発活動及び学習活動を実施
- ▶ 女性の社会進出が進んでいる一方で、性別による固定的な観念や思い込みなどの人権問題が依然として存在

人権相談件数の推移



※毎月開設している無料相談「人権相談」で受けた相談件数。
 なお、2020年3～5月は新型コロナウイルスの影響により中止。

課題

- ▶ 人権問題の解決に向けた人権教育・啓発のさらなる推進のため、関係機関・団体等との連携強化
- ▶ 多様化・複雑化する人権相談に対応するため、関係機関との連携強化、相談員の資質向上
- ▶ DV等の暴力の防止に向けた取り組みの充実
- ▶ 男女が対等に生きる意識と社会環境づくり
- ▶ 多様な働き方ができる職場環境づくり

※47. LGBTQ:女性の同性愛者 (Lesbian)、男性の同性愛者 (Gay)、両性愛者 (Bisexual)、こころの性からだの性の不一致 (Transgender)、性的指向や性自認がはっきりしていない、定まっていない、どちらかに決めたくない等 (Questioning) の性的少数者の総称のことです。
 ※48. DV: ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence) の略で、配偶者や恋人などの関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のことです。

施策

① 一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します

- ▶あらゆる分野において多様性を個性として受け入れ、誰もが尊重されるインクルーシブ社会の実現
- ▶家庭や学校、地域、職場等あらゆる場で、人権意識を高めることができるよう人権教育・啓発を推進し、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権侵害の行為の防止
- ▶LGBTQなど性的マイノリティについて、性の多様性に対する正しい知識と理解が広がる意識啓発と意識改革
- ▶人権問題における様々な相談に対して、国や県、民間団体等との連携・協働を図りながら、支援体制の充実
- ▶人権交流センターは人権と福祉の拠点施設として、講座等による交流や人権・生活・就労等の相談事業の充実

② あらゆる分野での男女共同参画を推進します

- ▶固定的な性別役割分担意識に捉われないこと、男女がともに尊重し合える意識づくりのため、職場、学校、地域、家庭など幅広い場面における広報・啓発活動
- ▶社会のあらゆる分野に様々な価値観と発想を取り入れるため、施策・方針決定過程への性別にとらわれない人材の参画の促進
- ▶男女間のあらゆる暴力の根絶に向け、被害者が安心して相談でき、かつ必要な支援を適切に受けられるよう体制の充実

③ 仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します

- ▶男女がともに責任を持って家事や地域活動を担い、様々な分野に参画できるよう、啓発を行うとともに環境の整備
- ▶労働環境において、仕事と私生活との調和が心身の健康や生産性の向上等に有効であることの啓発



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- 人権集会・研修会開催
- 人権相談
- DV相談

こんな計画が関連しています

- 宇陀市人権施策基本計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市特定事業主行動計画
- 宇陀市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市男女共同参画計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※49. **インクルーシブ社会**：障がい、性別、年齢、国籍や宗教、文化等の多様性を認め合い、共に暮らししていく社会のことです。
 ※50. **ワーク・ライフ・バランス**：働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

SDGs



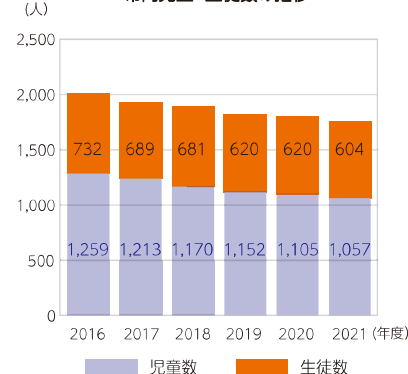
施策の方向性

4-2 子どもたちの教育環境の充実

現状

- ▶「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は、小中学生ともに全国平均を上回り、「全国学力・学習状況調査」は、小中学生ともに全国平均をやや下回る傾向
- ▶誰一人取り残さない、持続可能でよりよい地域社会の実現の推進と健やかな心身と安全な生活を保持増進できる子どもの育成を推進
- ▶外国語指導助手の配置や ICT 環境の整備により、国際化やデジタル化社会に対応できる人づくりを推進
- ▶課題を抱えた子どもを支援する専門職の配置等により、安心して通うことができる教育支援体制を推進
- ▶児童生徒が減少する中、望ましい教育環境を作るために学校の適正化について検討
- ▶学校施設の効率的な改修等を進めるため、学校施設長寿命化計画を策定
- ▶市内唯一の高校として宇陀高校が新設

市内児童・生徒数の推移



課題

- ▶基礎的・基本的な知識・技能のみならず、課題を解決するために必要な情報を精査し、根拠を明確にして説明する等の思考力・判断力・表現力の育成
- ▶外国語教育やデジタル化に対応した教育をはじめ、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成
- ▶課題を抱えた子どもたちやその保護者を支援する支援員や相談員、専門職の配置の充実
- ▶学校の学習環境の充実を図るため、保護者や市民の意見を踏まえた小・中学校の適正化
- ▶学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、ライフサイクルコストの縮減など、中長期的な視点から財政負担の軽減・平準化

はじめに
 宇陀市の紹介
 第1章 中期基本計画の策定にあたって
 第2章 基本構想
 第3章 基本計画
 1 暮らしの豊かさ
 2 学びやすさ
 3 住みよさ
 4 生涯学習まちづくり
 5 自然環境
 6 地域力を活かすまちづくり
 資料編

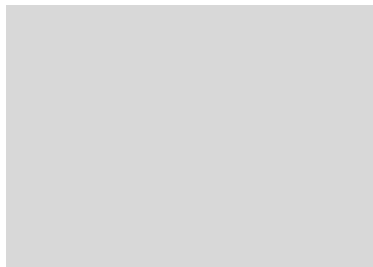
施策

① 児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます

- ▶ 学ぶ意欲を引き出し、家庭学習の定着を図るとともに、「どの子どもにも分かる授業」の実現に向けた教職員の資質・能力の向上
- ▶ 確かな学力を身に付けるため、国や市の学力調査の活用
- ▶ 他者の思いや意見、考え方を尊重することのできる豊かな人権感覚を持った子どもの育成
- ▶ 学校給食における地産地消の促進と、食育の推進
- ▶ 「使える」外国語教育の充実を図り、国際的視野を広めるとともに、プログラミング教育による情報活用能力や科学（化学）的思考力の向上
- ▶ 学校と家庭が連携したいじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決を支援するとともに、スクールカウンセラー等の教育相談等を通じた子どもの発達や不登校児童生徒の自立の支援
- ▶ GIGAスクール構想により整備した一人一台の学習用PC等のICT機器の効果的な活用
- ▶ 宇陀高校との連携による、小中学校における情報教育等の教育内容の充実

② 児童生徒の教育環境を整えます

- ▶ 保護者や地域住民、学校、教育委員会の連携・協働による市立小中学校の適正化
- ▶ 小中学校校舎や屋内運動場の大規模改修、LED化、長寿命化、バリアフリー化等の学習環境の向上と、環境への配慮や災害発生時の防災機能を有する施設としての整備
- ▶ 安全で安心な学校給食を提供するために老朽化している学校給食センターの新設
- ▶ 安全で安定したスクールバスの運行及び車両の年次更新



こんな事業を行っています

(事業は2021年度の事業を基にしています)

- 教職員の指導力・質の向上
- 英語指導助手設置
- 学力・学習状況調査
- オンラインスピーキングトレーニング実施
- 教育相談
- 道級指導教室設置
- 新宇陀市立学校給食センター建設
- 屋内運動場LED化
- スクールバス購入
- 学校適正化推進

こんな計画が関連しています

- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市学校教育の指針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市学校施設長寿命化計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※51. **プログラミング教育**: 物事を順序立てて論理的に考えていく力(プログラミング的思考)や情報を活用する力を身に付けるための教育のことです。
 ※52. **GIGAスクール**: 義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境等を整備する構想で、宇陀市では2020年度に整備を終えています。

SDGs



施策の方向性

4-3 多様な学びの場の整備・充実

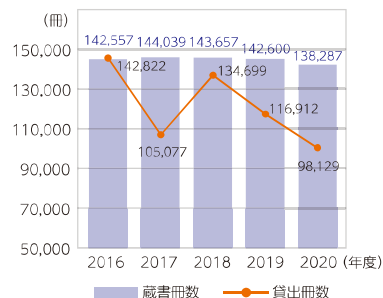
現状

- ▶ 生涯学習の拠点となる中央公民館と地域の分館で、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学びの場を提供
- ▶ 図書館では、蔵書の充実を図るとともに、電子図書館の開設や図書消毒機の導入など、コロナ禍での読書環境を整備
- ▶ 大和富士ホールは、市民の教育文化の向上と生涯教育の増進を図る施設として、住宅地の中にあるということもあり、幅広い年齢層が利用
- ▶ SNSの普及により、人間関係の希薄化やインターネットを悪用した問題行動の発生など、青少年を取り巻く環境が大きく変化
- ▶ 家庭や地域、学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取り組みを実施

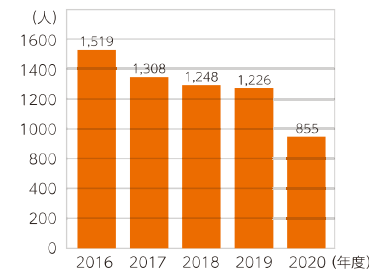
課題

- ▶ 中央公民館等の各社会教育施設の老朽化対策
- ▶ 様々な生涯学習活動や地域ぐるみ・世代間の交流を通じて、人とのつながりや人を思いやる心を育む機会の提供
- ▶ SNSを悪用したトラブルに巻き込まれないよう、青少年健全育成環境の整備
- ▶ 地域に根差した開かれた学校づくりを目指し、学校と地域の連携強化

図書館蔵書冊数と貸出冊数の推移



宇陀市中央公民館定期講座受講者数の推移



はじめに
 宇陀市の紹介
 第1章 中期基本計画の策定にあたって
 第2章 基本構想
 第3章 基本計画
 第4章 生涯学習のまちづくり
 第5章 子育てしやすいまちづくり
 第6章 学びのまちづくり
 第7章 健康なまちづくり
 第8章 自然環境のまちづくり
 第9章 地域力を活かしたまちづくり
 資料編

施策

① 生涯学習環境の充実を図ります

- ▶ 教養の向上や健康の増進、文化の振興等のため、市民のニーズに合った各種講座や教室の積極的な開催
- ▶ 老朽化が著しい中央公民館及び菟田野、室生の各分館は、生涯学習の拠点機能を維持するため、地域内の他施設への移転の検討
- ▶ 図書館では、蔵書の充実やサービスの向上によって利用促進を図るとともに、子ども読書活動推進、電子図書やデジター図書の拡大等により、子どもから高齢者まで幅広い世代の学びや交流の場の創出
- ▶ 各社会教育施設について、中長期的な視点に立った維持・保全対策等や効率的な管理運営

② 地域社会全体で子どもの育ちを支えます

- ▶ 地域・家庭・事業所・行政等の連携を強化し、子育ての楽しさや大変さを分かち合えるよう、多様な人の協力と助け合いによる自主的な活動の支援
- ▶ 子どもの自立や協調性を高めるため、関係団体の育成やイベント開催、ボランティア活動等の実施の支援
- ▶ 各健全育成団体の協力を得ながら、未来を担う子どもたちの育成支援
- ▶ 地域社会力を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援し、「地域と共にある学校づくり」を進めるため、子どもたちの学習補助や体験学習等の実施



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- 公民館講座開設
- 宇陀市子どもフェスタ開催
- 子ども読書活動推進
- 学校・地域パートナーシップ

こんな計画が関連しています

- 宇陀市子ども読書活動推進計画
- 宇陀市週縁地域持続的発展計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画

※53. 電子図書：紙媒体で出版されていた本を電子データ化し、タブレット端末等の電子機器の画面で読めるようにした図書のことです。
 ※54. デジター図書：文章を音声で聞きながら、パソコン等の画面に絵や写真等の画像が表示されるデジタル図書です。

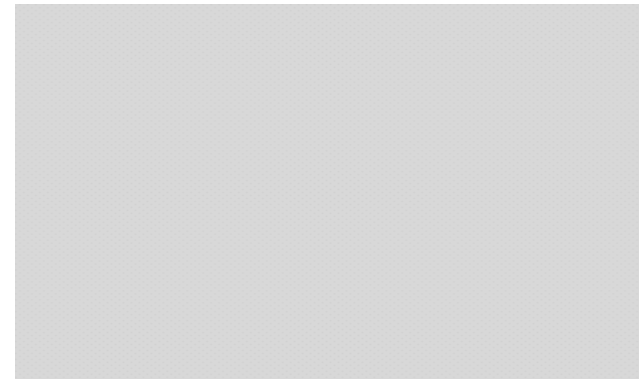
SDGs



4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

現状

- ▶ 宇陀市のスポーツ施設等では、市民団体等が様々な活動を実施
- ▶ 健康づくりへの取り組みが注目される中、団体のみならず個人での運動に取り組む気運が高まる
- ▶ 2031年に奈良県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催予定
- ▶ 文化会館等で文化・芸術に触れることができる環境が整っている



課題

- ▶ 健康長寿や生きがいづくりにつながる生涯スポーツと、アスリートが活躍し応援する競技スポーツの両立を図り、誰もがスポーツに親しめる環境づくり
- ▶ 市民のスポーツ振興並びに、スポーツを通じた関係人口の拡大による地域活性化の拠点となる施設の整備
- ▶ 地域等で誰もがスポーツを楽しむことのできる機会の拡大や共生社会の実現、健康寿命の延伸
- ▶ 安全で快適に各施設を利用できるように、施設や設備の長寿命化や適正な維持管理
- ▶ 市民主体の文化活動への支援や文化・芸術に触れることができる機会の充実

はじめに
宇陀市の紹介

第1章 中期基本計画の策定にあたって

第2章 基本構想

第3章 基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然が輝くまち

地域力を発揮するまち

資料編

施策

① スポーツ活動の充実に取り組みます

- ▶スポーツ活動の拠点施設の整備に向けた取り組みを進め、市民のスポーツ振興及び競技スポーツによるまちの活性化
- ▶中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等を行うとともに、効率的な管理運営
- ▶スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ▶障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ▶地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成に取り組み、地域住民間の交流や地域住民のスポーツへの参加機会の充実
- ▶2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致

② 芸術・文化の振興を図ります

- ▶芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ▶芸術や文化の振興を促進するため、講座等の充実を図り、市民の芸術・文化活動の支援
- ▶創作活動の成果発表の場や、文化芸術鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」の育成
- ▶文化芸術活動体験交流施設や室生高齢者等ふれあい館等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営の実現



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- スポーツ施設長寿命化
- スポーツイベント開催
- 文化会館自主事業
- 美術展覧会開催
- 文化会館長寿命化

こんな計画が関連しています

- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

- ※55. **国民スポーツ大会(国民体育大会)**：毎年、都道府県持ち回りで開催される屋内最大のスポーツの祭典です。国民体育大会(本大会)と国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施されます。また、「国民体育大会」の名称は、2024年の佐賀県での大会から「国民スポーツ大会」に変更されることとなっています。
- ※56. **全国障害者スポーツ大会**：毎年、国民体育大会を副催した都道府県で開催される、全国的な障害者スポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で行われ、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。
- ※57. **総合型地域スポーツクラブ**：身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人がそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

自然豊かなまち

施策の方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

5-2 生活環境の整備・充実

5-3 公園・緑地の整備・活用

評価指標	現状値		目標値(2029年)	指標の考え方
	前期基本計画策定時	中期基本計画策定時		
宇陀市のBOD*	0.7 mg / ℓ (2017年)	1.5 mg / ℓ (2020年)	0.6 mg / ℓ	自然環境を保全する取組みによって、宇陀川の美しい環境の維持及び美化につながると思います。
市民1人あたりのごみ排出量	0.27t / 年 (2017年度)	0.27t / 年 (2020年度)	0.25t / 年	循環型社会の実現に向けた取組みや自然環境を保全・活用する取組みの推進が、市民の方々が排出するごみの削減につながると思います。

※BOD(Biochemical OXjgen Demand) は生物化学的酸素要求量とって、最も一般的な水質指標の一つです。水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものであり、一般に、BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言えます。

